

2020年7月30日
株式会社日本政策金融公庫

第205回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2020年4～6月期実績、7～9月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、大幅に悪化している。
～景況は、引き続き大幅に悪化している～**

- 【金融関連】○ 資金繰りD.I.は、▲54.4とマイナス幅が大幅に拡大した。
○ 借入難易感D.I.は、▲6.1とマイナス幅がやや縮小した。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、大幅に増加した。
- 【保証利用】○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、大幅に増加した。
○ 来期(20年7～9月)における保証利用要請D.I.は、5.2と上昇した。
※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】○ 生産・売上D.I.は、▲69.7とマイナス幅が大幅に拡大した。
○ 採算D.I.は、▲66.4とマイナス幅が大幅に拡大した。

【特別調査】「新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について」

- 企業活動へのマイナスの影響については、調査時点(6月中旬)において、「影響あり」と回答した企業が7割超となっている。
- 資金繰り対策として、2020年3～6月に金融支援を「利用した」と回答した企業が全体の6割超となっており、利用した金融支援では「信用保証付き融資」が6割超と最も多くなっている。
- 金融支援を利用する際の情報入手先については、「関係機関の担当者、窓口」が7割超と最も多くなっている。

＜調査の要領＞	調査時点	2020年6月中旬
	調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約84%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
	有効回答企業数	5,644企業
	回答率	35.3%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:宮本、山嶋、佐藤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースター

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲54.4とマイナス幅が大幅に拡大した。
来期の見通しについては、▲38.6となっている。

		2019/4-6	7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9
資金繰りD.I.	実績	▲8.8	▲9.0	▲13.1	▲22.7	▲54.4	
	見通し	▲4.1	▲5.0	▲6.5	▲8.3	▲27.0	▲38.6

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

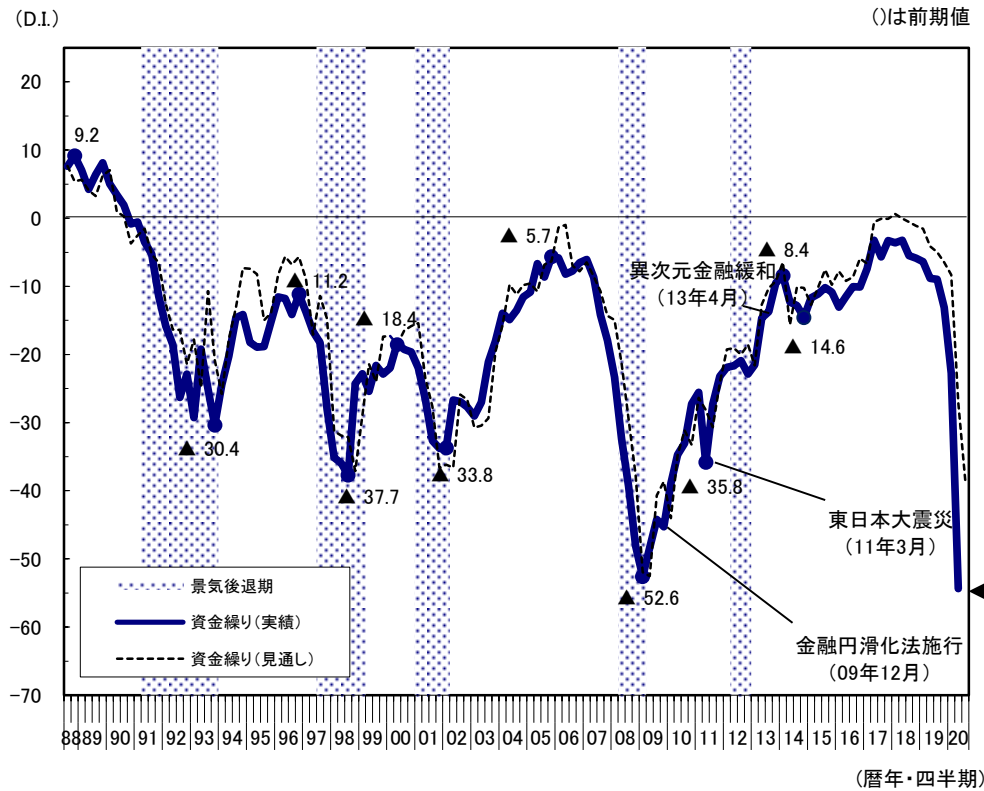
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲6.1とマイナス幅がやや縮小した。
来期の見通しについては、▲26.0となっている。

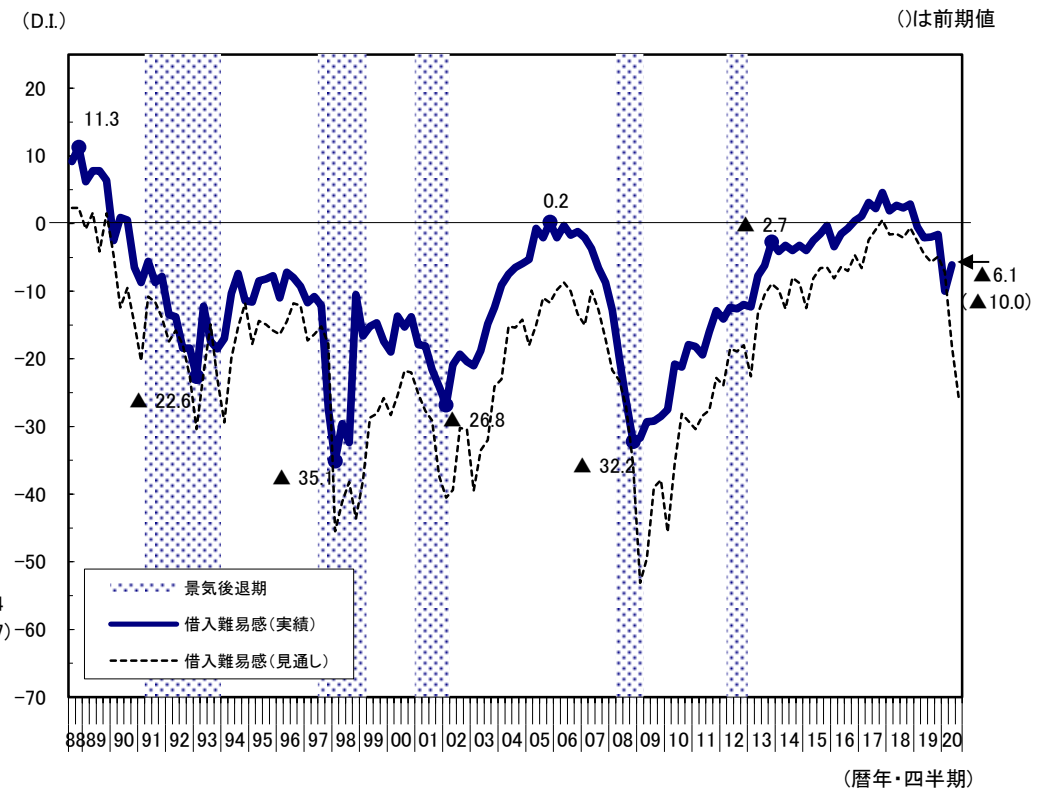
		2019/4-6	7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9
借入難易感D.I.	実績	▲2.1	▲2.0	▲1.6	▲10.0	▲6.1	
	見通し	▲4.5	▲5.7	▲4.9	▲7.2	▲18.1	▲26.0

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、大幅に増加した。

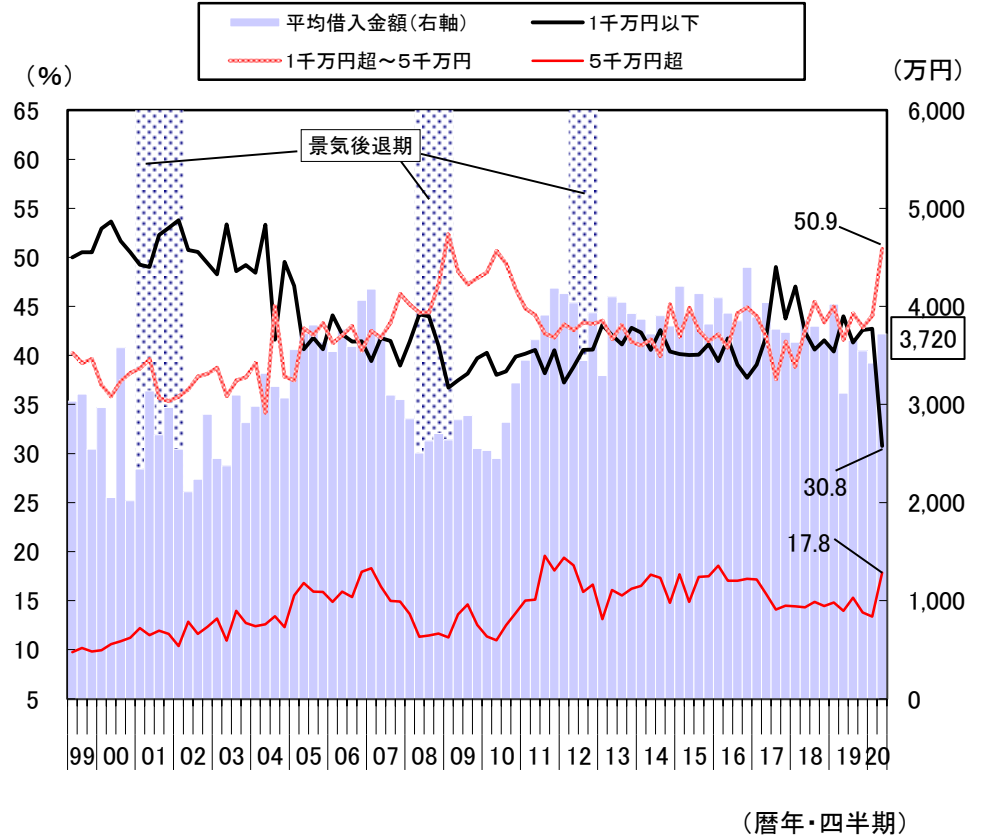
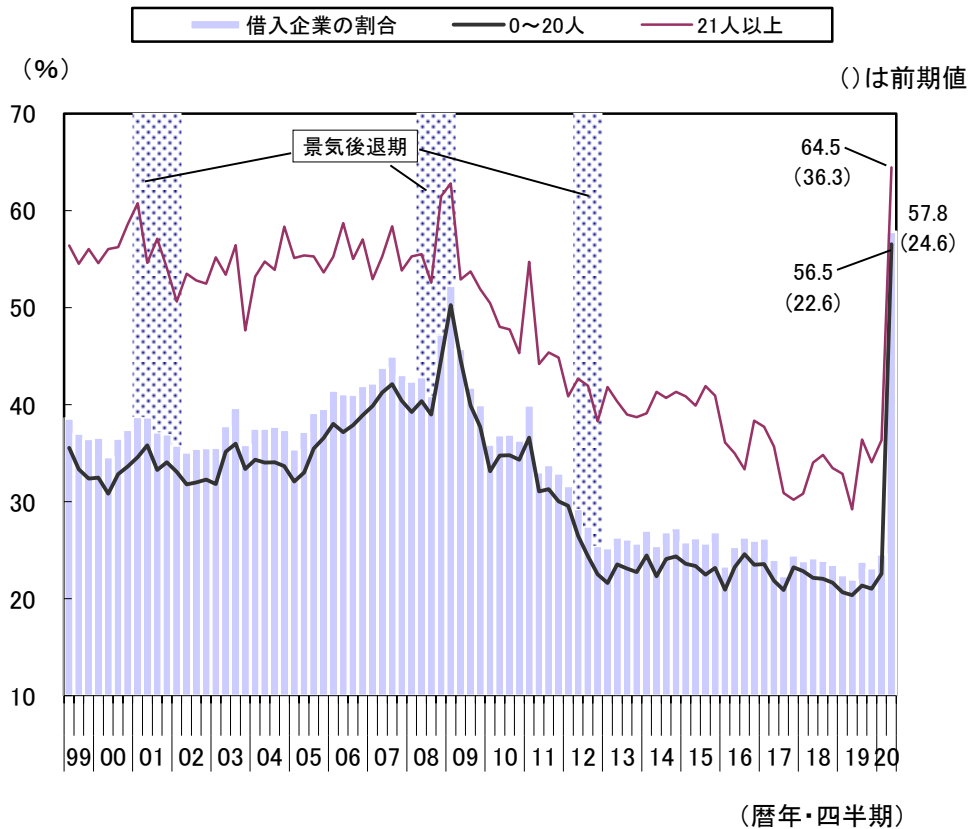
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円超～5千万円」が増加、「5千万円超」がやや増加した一方で、「1千万円以下」が大幅に減少した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2019/4-6	7-9	10-12	2020/1-3	4-6
借入企業の割合	22.0	23.8	23.2	24.6	57.8
0-20人	20.4	21.4	21.0	22.6	56.5
21人以上	29.2	36.4	34.1	36.3	64.5

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

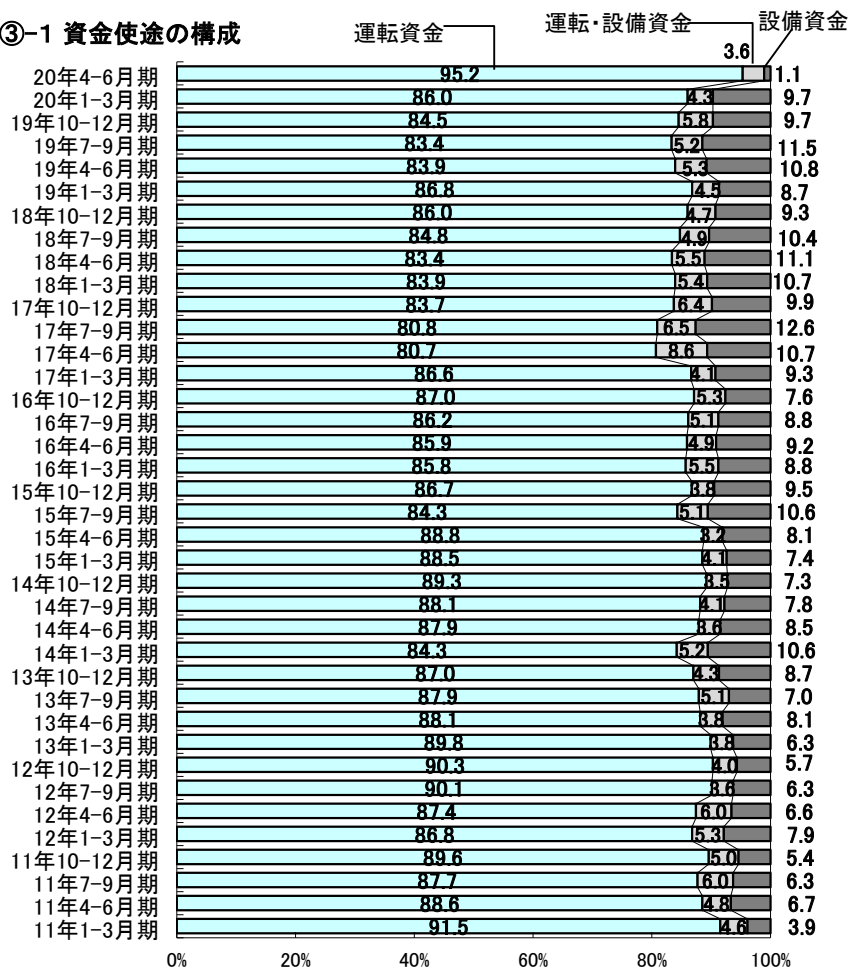
	2019/4-6	7-9	10-12	2020/1-3	4-6
1千万円以下	44.0	41.3	42.6	42.7	30.8
1千万円超～5千万円	41.6	44.3	42.9	44.1	50.9
5千万円超	14.0	15.3	13.8	13.4	17.8



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

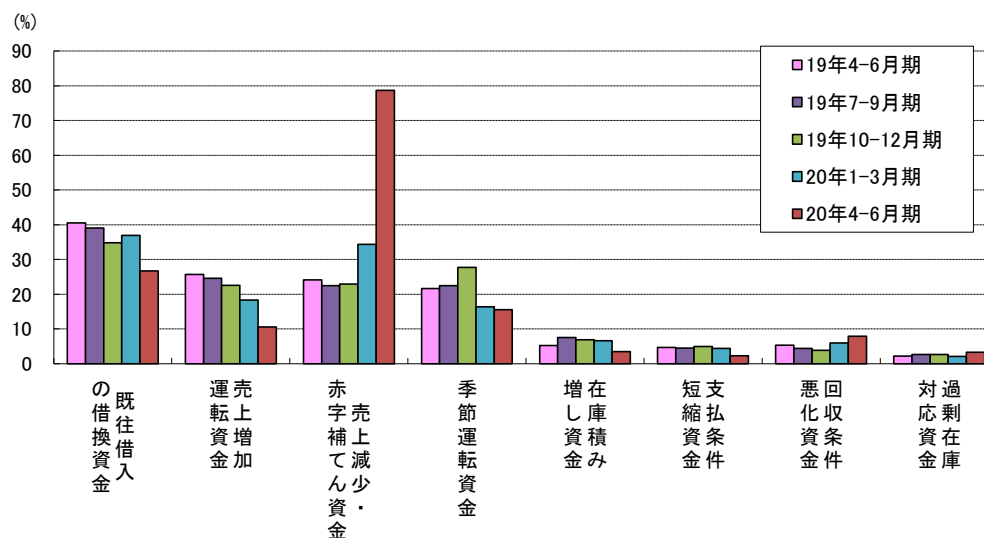
- ・資金使途については、運転資金が増加し9割超となり、設備資金は減少した。
- ・運転資金の内訳では、「売上減少・赤字補てん資金」の割合が大幅に増加し、「既往借入の借換資金」の割合は大幅に減少した。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)	既往借入の借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
20年								
4-6月期	26.7	10.6	78.7	15.6	3.5	2.3	7.9	3.3
1-3月期	36.9	18.3	34.4	16.4	6.6	4.4	6.0	2.1
19年								
10-12月期	34.8	22.6	22.9	27.7	6.9	5.0	3.9	2.7
7-9月期	39.1	24.6	22.5	22.5	7.5	4.5	4.4	2.7
4-6月期	40.5	25.7	24.1	21.6	5.2	4.7	5.3	2.2



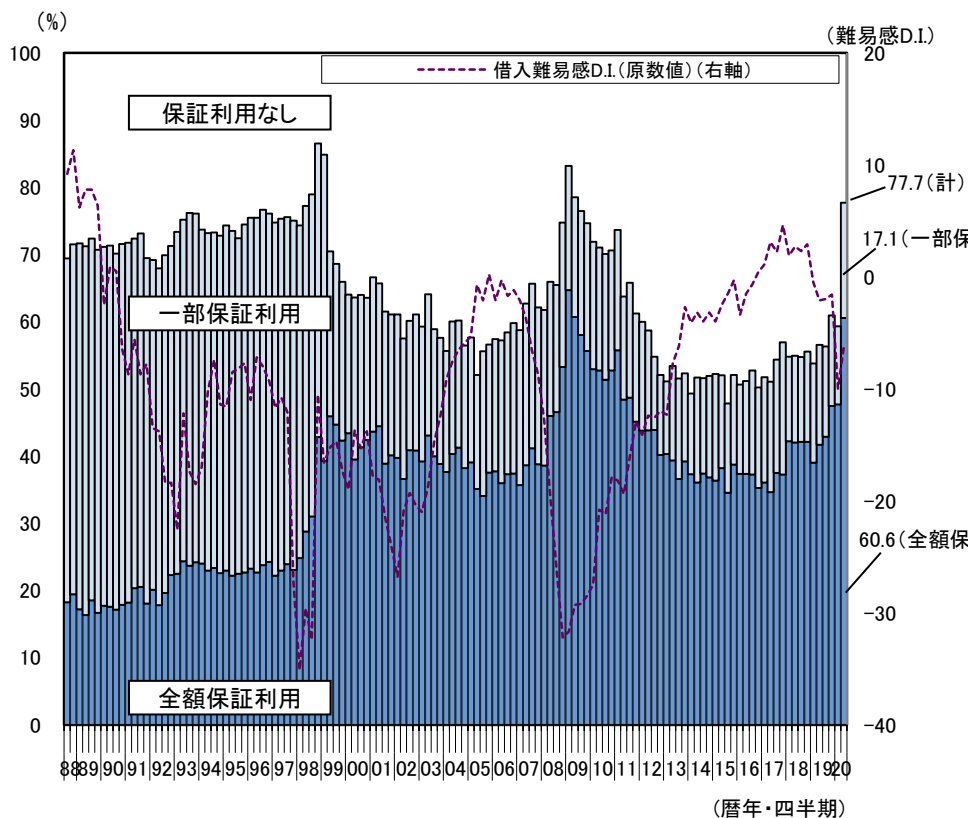
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、大幅に増加した。保証利用割合別にみると、「全額利用」が大幅に増加した。

	2019/4-6	7-9	10-12	2020/1-3	4-6
保証利用企業の割合	56.6	56.3	60.9	59.3	77.7
全額利用	41.7	42.9	47.5	47.7	60.6
一部利用	14.9	13.4	13.5	11.6	17.1
保証利用がない企業の割合	43.4	43.7	39.1	40.7	22.3

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

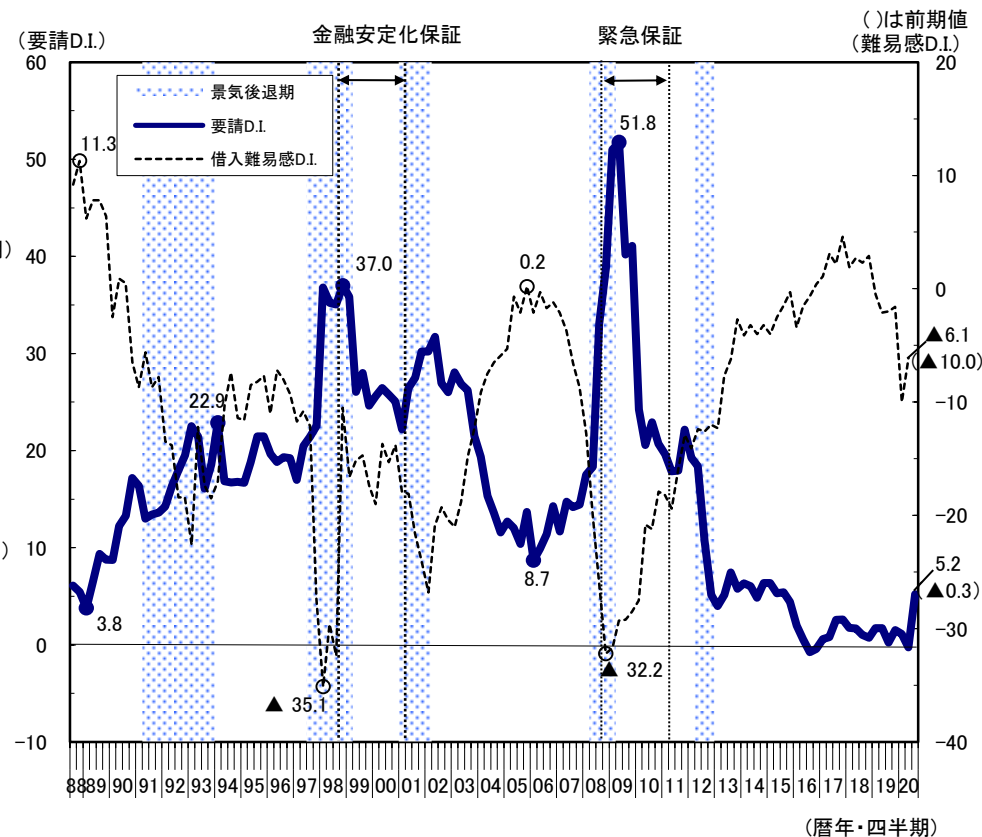
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(2020年7~9月)における保証利用要請D.I.は、5.2と上昇した。

	2019/4-6	7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9
要請D.I. 見通し	1.7	0.2	1.5	1.1	▲0.3	5.2
借入難易感D.I. 実績	▲2.1	▲2.0	▲1.6	▲10.0	▲6.1	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲69.7とマイナス幅が大幅に拡大した。
来期の見通しについては、▲39.5となっている。

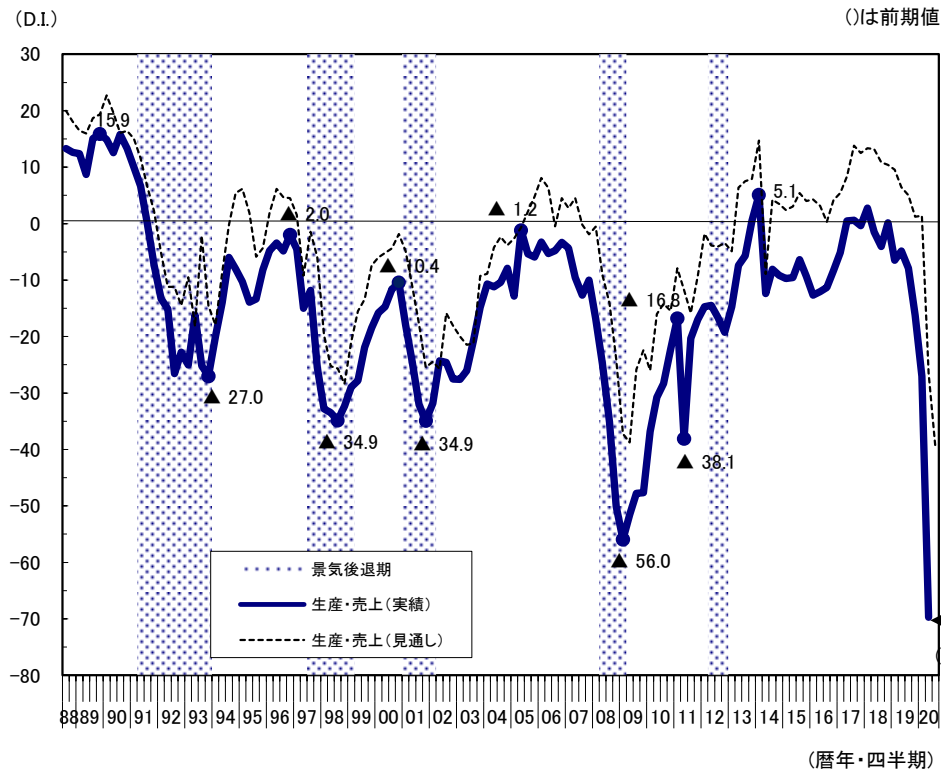
		2019/4-6	7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9
生産・売上D.I.	実績	▲4.8	▲7.9	▲16.2	▲27.0	▲69.7	
	見通し	6.4	5.0	1.2	1.4	▲26.5	▲39.5

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

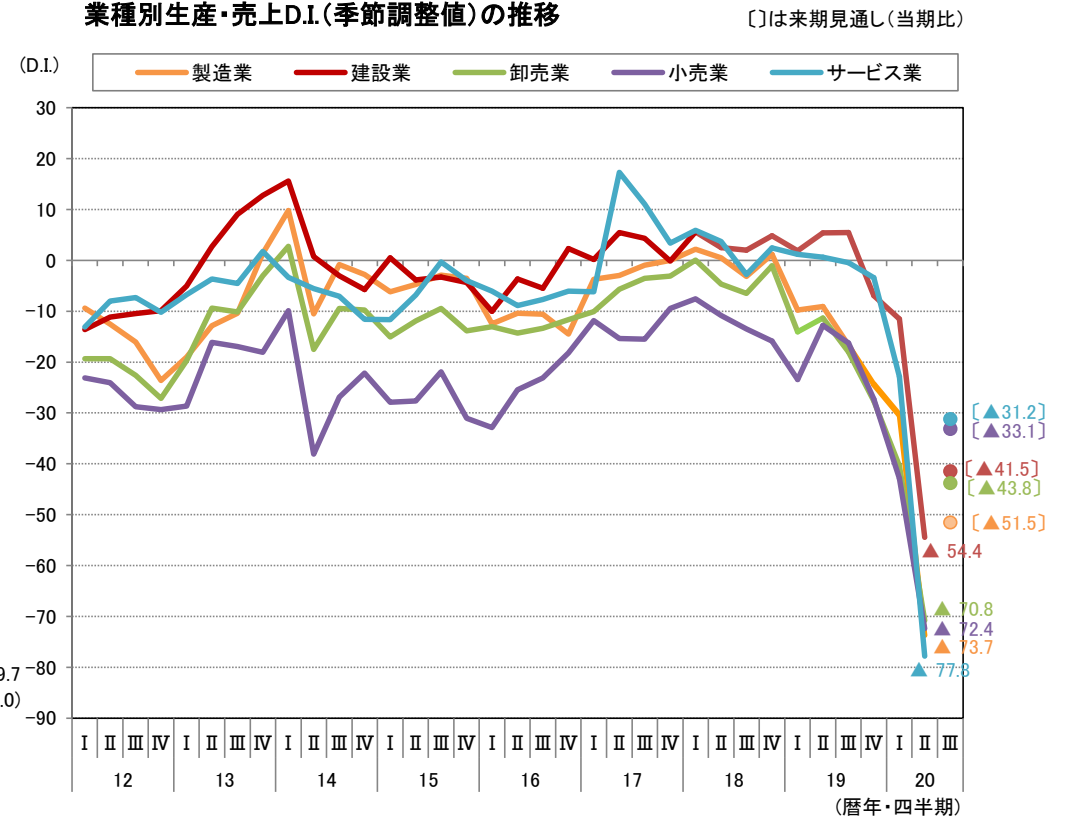
生産・売上(業種別)

・生産・売上D.I.(業種別)は、全ての業種でマイナス幅が大幅に拡大した。

生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



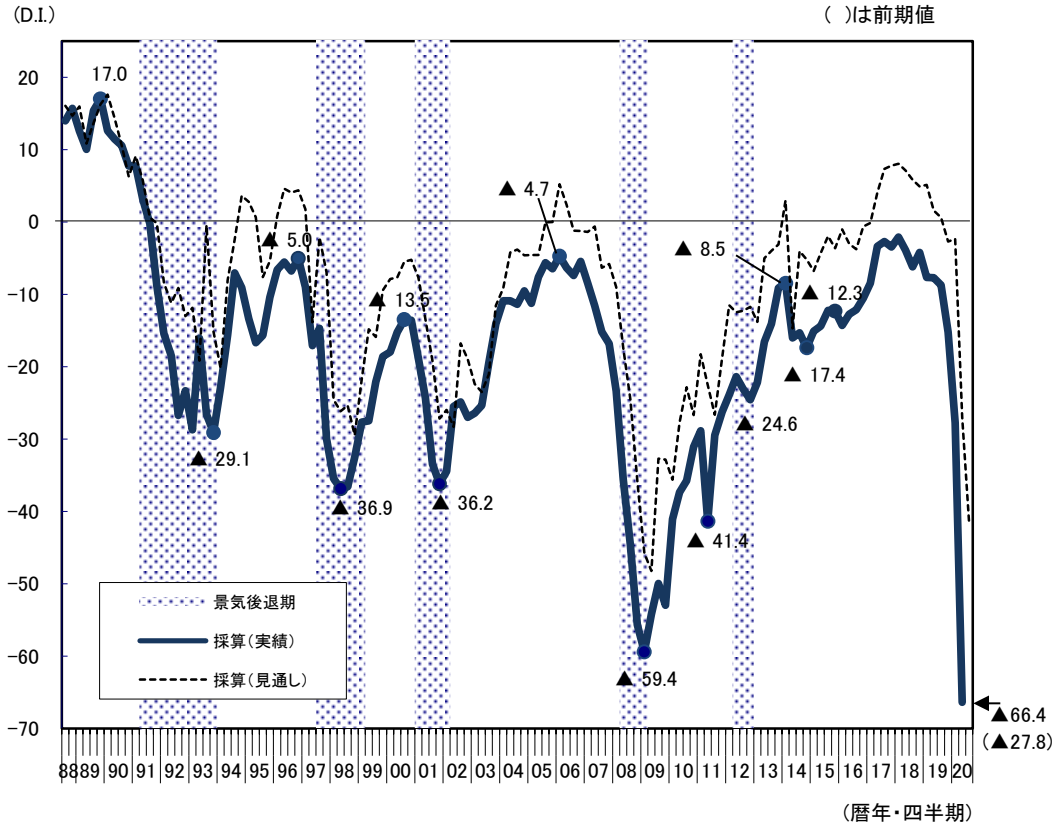
(6) 採算

- ・採算D.I.は、▲66.4とマイナス幅が大幅に拡大した。
来期の見通しは、▲41.9となっている。

		2019/4-6	7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9
採算D.I.	実績	▲7.7	▲8.7	▲15.2	▲27.8	▲66.4	
	見通し	1.6	0.6	▲2.7	▲2.4	▲27.0	▲41.9

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

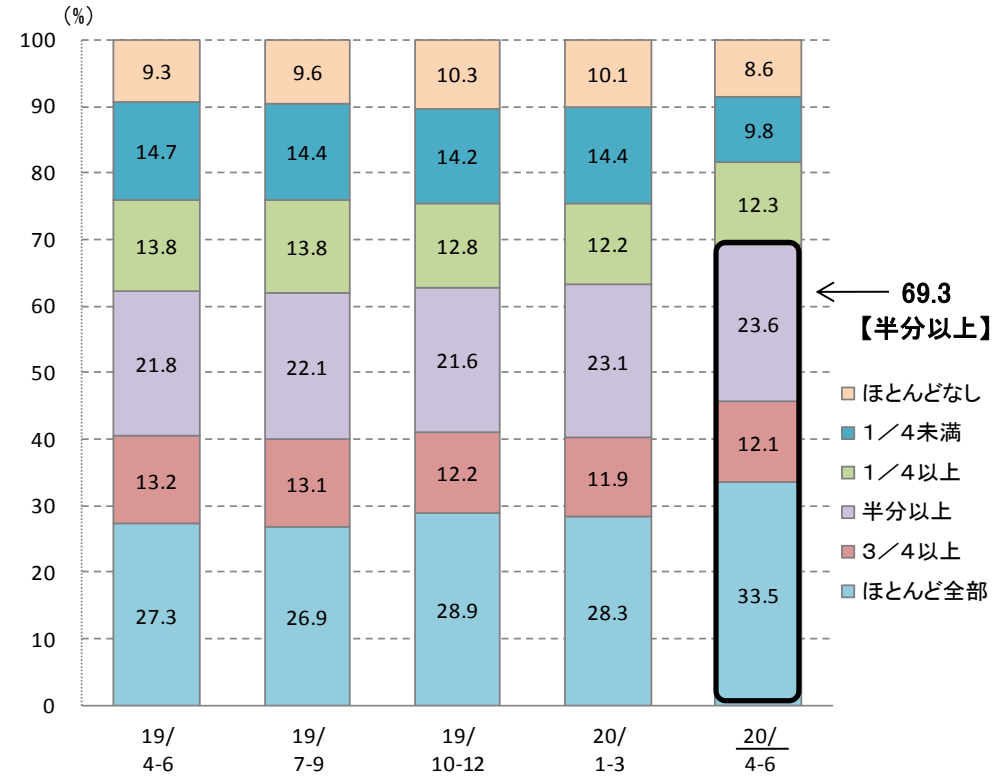
採算D.I.(季節調整値)の推移



(参考) 保証利用割合

- ・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が69.3%と増加した。
- ・保証利用割合別にみると、「ほとんど全部」が増加した。

保証利用割合の推移



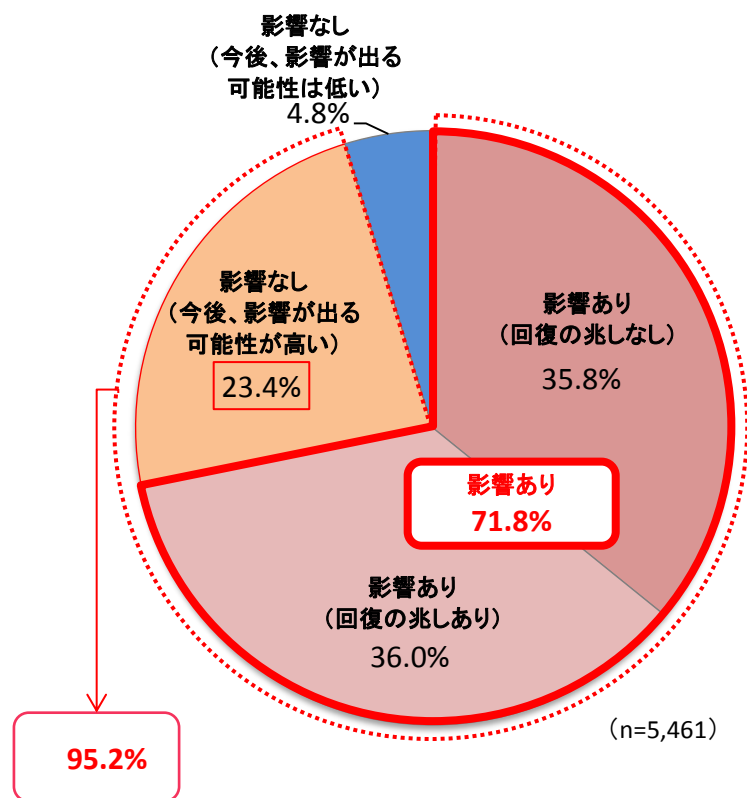
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

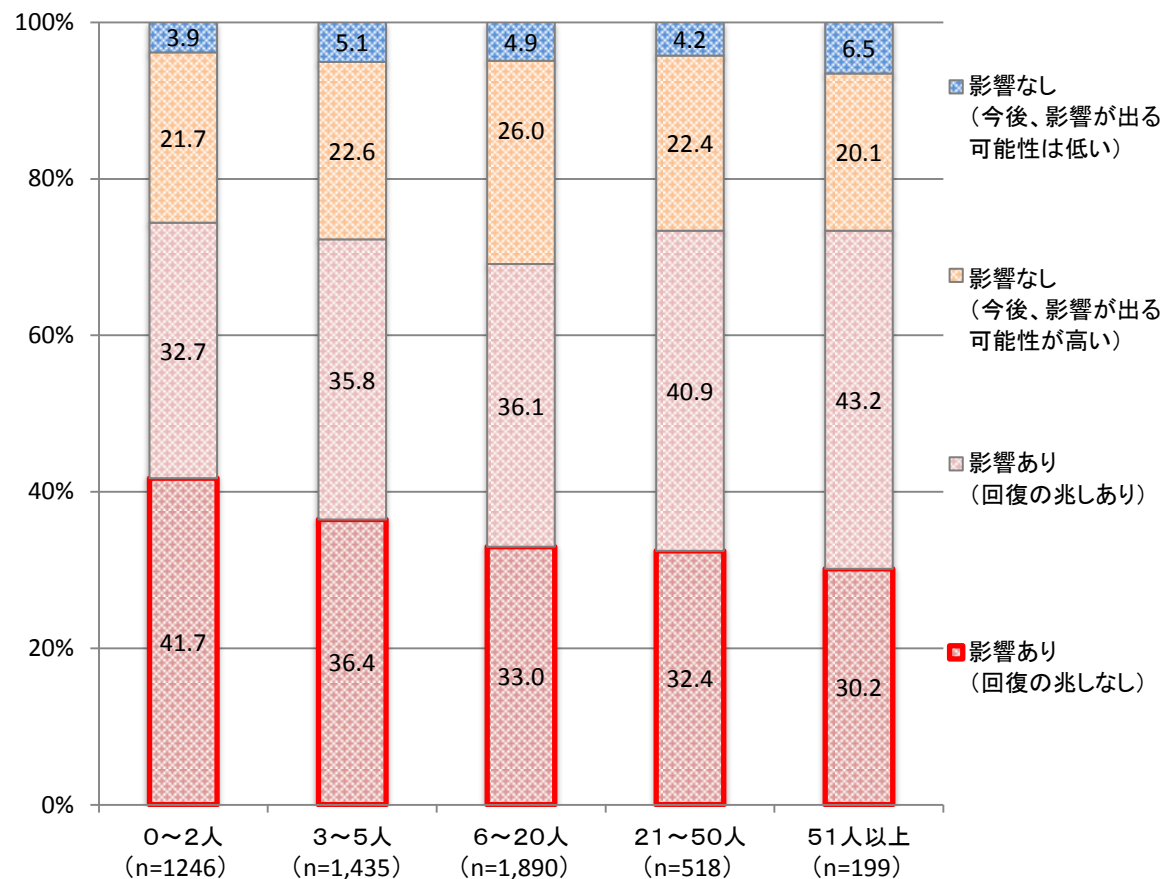
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、調査時点(6月中旬)において、「影響あり」と回答した企業が7割超となっている。なお、「影響なし(今後、影響が出る可能性が高い)」と回答した企業もあわせると9割超となっている。
- ・従業員規模別にみると、従業員規模の小さな企業ほど「影響あり(回復の兆しなし)」の回答割合が高くなっている。

(1) 企業活動へのマイナスの影響



(2) 企業活動へのマイナスの影響(従業員規模別)



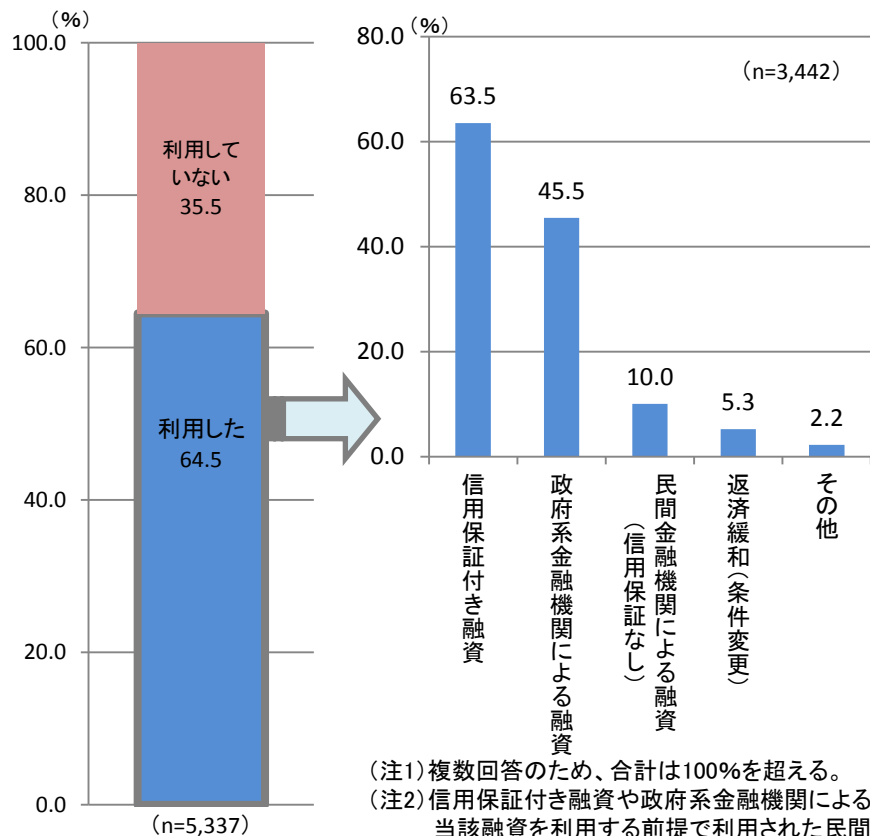
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

2. 金融支援の利用状況について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金繰り対策として、2020年3～6月に金融支援を「利用した」と回答した企業は全体の6割を超えている。利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資を利用」が6割超と最も多く、次いで「政府系金融機関による融資を利用」が4割超となっている。
- ・金融支援を利用した理由については、「人件費支払など従業員の雇用維持のため」が7割超と最も多く、次いで「既存の取引先(仕入・外注・借入先等)への支払・返済など取引継続のため」が6割超となっている。
- ・今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討している」と回答した企業が全体の7割となっている。

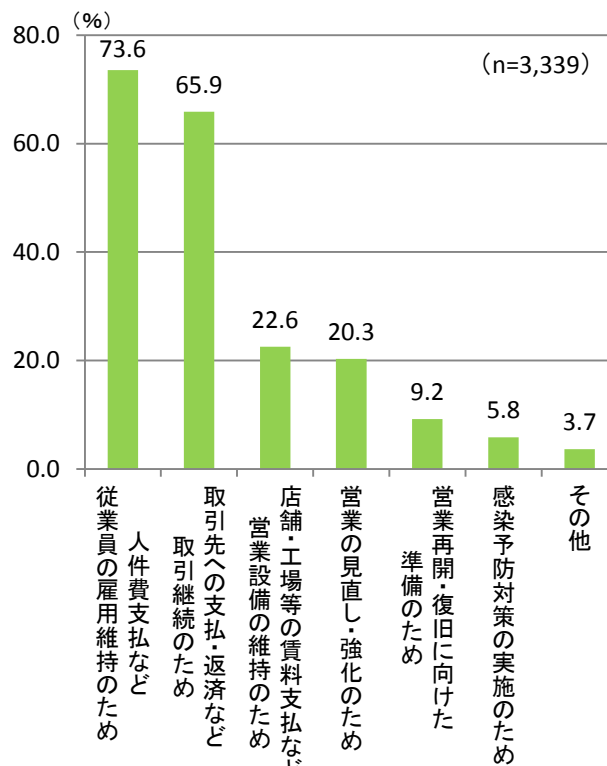
(1) 金融支援の利用状況(2020年3～6月)



(注1) 複数回答のため、合計は100%を超える。

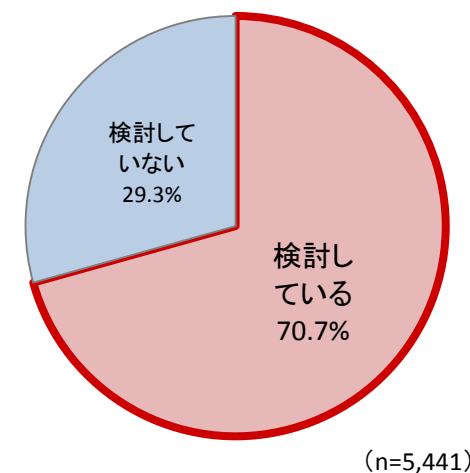
(注2) 信用保証付き融資や政府系金融機関による融資には、当該融資を利用する前提で利用された民間金融機関のつなぎ融資を含む。

(2) 金融支援を利用した理由



(注) 複数回答(3つまで)のため、合計は100%を超える。

(3) 今後の金融支援の利用に係る検討状況



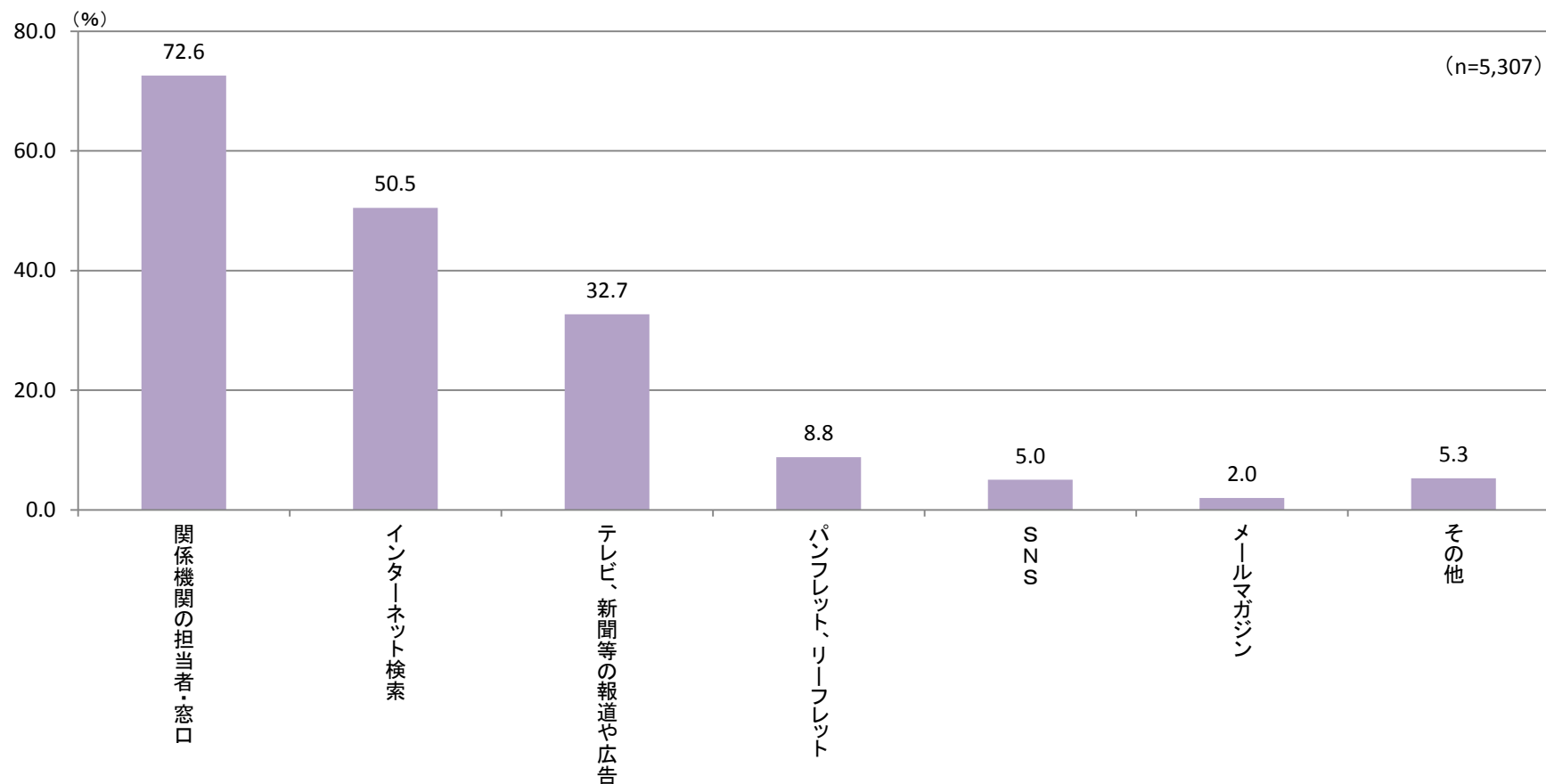
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

3. 金融支援に係る情報の入手先について

・金融支援の利用を検討する際における情報の入手先は、「関係機関の担当者、窓口」が7割超と最も多く、次いで「インターネット検索(ホームページ等)」、「テレビ、新聞等の報道や広告」となっている。

金融支援を利用する際の情報入手先



(注1) 複数回答のため、合計は100%を超える。

(注2) SNSは、「ソーシャルネットワーキングサービス」の略。